

- ゼロカーボンシティの実現に向けては、地産地消の太陽光発電などの地域脱炭素事業の推進が必要となり、遊休市有地を活用する。
- 錦岡放牧場跡地などの2つのエリアにおいて、それぞれ「公募型プロポーザル方式」、「パートナー事業者公募」により選定した優先交渉権者に事業に必要な範囲の市有地を貸付し、太陽光発電事業により、より多くの再生電力を市内に供給。
- 優先交渉権者選定にあたっては、太陽光発電事業の手法も様々であり、再生電力供給先や電力単価など総合的な観点での提案が必要となるため、「公募型プロポーザル方式」及び「パートナー事業者公募」のプロセスを得る。
- 公募スケジュールは、令和7年5月に公募開始、事業規模が大きいことから提案書の受付期間を約半年間設け、**年度内には優先交渉権者を選定。**

受託候補者選定方法	公募型プロポーザル方式	パートナー事業者公募 ※公募型プロポーザル方式の手続きに準拠
公募事業名	地域共生・地域裨益型再生エネルギー発電事業 (重点対策加速化事業分)	市有地を活用した地産地消の再生エネルギー発電事業
貸付対象エリア	右図黄色エリア (267,829㎡)	右図水色エリア (計 528,293㎡)
提案内容	オフサイトPPA方式による太陽光発電事業	主に太陽光発電事業 その他事業との複合提案可
事業規模・事業費	数メガワット程度・数億円程度と想定	数十メガワット程度・数十億円程度と想定
再生エネルギー供給先	全量市有施設へ供給	多くを市内需要家へ供給
提案上限額	電力単価: 21円/kwh (税抜)	なし
補助金の活用	環境省地域脱炭素移行・再生エネルギー交付金 (重点対策加速化事業)を最大3億円活用 (補助率1/2以内)	なし
発電スケジュール	令和9年度に現地工事 (補助金活用) 令和10年度から発電開始	遅くとも令和12年度から発電開始
ハザードマップ	なし	樽前山中規模噴火
その他共通事項	・ 過去に国内での太陽光発電事業の実績を有する者 ・ 複数の法人で構成する共同企業体での提案可 ・ 調査・設計、周辺関係者への説明、工事、維持管理、撤去までを提案 ・ 需要家への電力供給期間は17年以上継続 ・ 周辺環境及び景観等への影響に配慮した対策を提案 ・ 市内事業者との共同事業や活用など地元経済への貢献を提案 ・ 貸付物件の貸付料単価は1㎡あたり2.05円/年	

